

(2) 小規模高齢化集落への対応

ア 集落機能の維持・再生に向けた新たな仕組みをつくる

<主な取組状況>

- 三河山間地域と都市部の企業・大学・個人が活動や交流を進め、集落の機能維持・活性化を図る「三河の山里サポートデスク」事業を実施

<登録状況：平成27年3月末現在>

- ・あいちの一社一村ふるさとハッスル運動：7団体
- ・三河の山里 集落応援隊：27名（個人）
- ・受入集落：4市町6集落



「三河の山里 - 集落応援隊」活動（設楽町沖駒地区：7月20日）



「三河の山里 - 集落応援隊」活動（新城市鳳来地区：12月28日）

- 愛知県交流居住センターによる情報提供を通じ、交流居住の受入集落の拡大を促進

(3) 交流居住の活性化によるU I Jターンの促進

ア 愛知県交流居住センターの機能を強化する

<主な取組状況>

- 愛知県交流居住センターのホームページ、フェイスブックを活用し、交流イベントを始め、入居者募集住宅、遊休農地、就労環境、観光、特産品など都市住民のニーズに合った情報を発信



愛知県交流居住センターのホームページ

- 「三河の山里ふるさとブログ」を通じて、三河山間地域でブログにより情報発信をする個人や特産品事業者を紹介
- New** ○ 廃校になった東栄町の小学校を活用して「奥三河のき山学校」を開校し、イベント（年間16回）やモニターツアー（年間2回）を実施



和太鼓体験（奥三河のき山学校：11月22日）

イ 交流居住の受入先を増加させる

<主な取組状況>

- 愛知県交流居住センターと地元自治体との連携により「空き家リフォーム住宅見学会」を実施



空き家リフォーム住宅見学会（東栄町：11月30日）

- 就農相談会や、林業労働力確保支援センターとの連携による林業就業相談会を実施



森林の仕事ガイダンス（名古屋市：11月16日）

- 農業大学校における生産技術や経営に関する研修を実施

【コラム 三河山間地域「移住フォーラム」開催】

愛知県交流居住センターの企画により3月8日に名古屋市内で「田舎暮らしというライフスタイルの提案～「新しい田舎暮らし」についてみんなで考える1日」が開催されました。

生き方、働き方を考え直す人が増えている今、名古屋市を中心に愛知県、岐阜県、遠くは山梨県から63名の方が参加され、若い世代による「新しい田舎暮らし」の全国事例について説明を受けました。

ゲストトークでは、福岡県で行なわれている「トライアルステイ」という体験移住プロジェクトの紹介や、全国の若者による移住に関する記事を編集しているウェブマガジンの編集長による田舎暮らしの基本の解説、また3人の田舎への移住者による体験談が紹介されました。



ゲストトークの様子

またゲストトークの後には、6名のゲストを囲んでグループトークが行なわれました。より詳しく話を聞きたいゲストと直接意見交換ができるということで、田舎暮らしをするための準備について、農業で生計を立てるには等、率直な質問がたくさんでした。



グループトークの様子

このフォーラムをきっかけに「田舎暮らし」や「三河山間地域」について興味を持っていただくことができました。今後も愛知県では、新しいライフスタイルの選択肢としての三河山間地域への移住が促進されるよう、都市部と農山村との交流を図っていきます。